

ラダー別研修一覧(レベル認定必須研修／キャリアサポート研修)

ラダーレベル	到達目標	研修の概要	研修対象者	レベル認定必須研修	キャリアサポート研修
レベルⅠ	看護実践に必要な基本的能力を習得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の一員として行動できるための研修</li> <li>・患者・家族へ支援する姿勢を養う研修</li> <li>・基本的な看護実践を安全に実施できるための研修</li> </ul>	レベルⅠを目指す者	採用時研修すべて レベルⅠで計画されている研修すべて 静脈注射研修	看護技術チェック(OJT)
レベルⅡ	<ol style="list-style-type: none"> <li>①根拠に基づいた看護を実践する</li> <li>②後輩と共に学習する</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバーとして役割が果たせるための研修</li> <li>・患者・家族を理解して支援できるための研修</li> <li>・所属部署において根拠に基づいた看護実践ができるための研修</li> <li>・後輩指導に関心が持てる研修</li> </ul>	レベルⅠ認定者・それ相当の者 レベルⅡを目指す者	メンバーシップ研修 ケーススタディ講義 ケーススタディ発表 プリセプター研修Ⅰ プリセプター研修Ⅱ	急変対応研修 (ACLS)
レベルⅢ	<ol style="list-style-type: none"> <li>①個性を重視した看護を実践する。</li> <li>②看護実践者として、後輩に指導的役割を果たせる</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームリーダーとして責任を持った行動ができるための研修</li> <li>・倫理的視点を持ち患者、家族へ意思決定支援ができるための研修</li> <li>・個性を重視した看護実践ができるための研修</li> <li>・後輩に関心が持て支援していくための研修</li> </ul>	レベルⅡ認定者・それ相当の者 レベルⅢを目指す者	リーダーシップ研修Ⅰ 看護倫理研修Ⅰ メンター研修Ⅰ がん診療研修(スピリチュアル) (レベルⅢ以上) 看護研究(基礎編) 看護研修(質と量の研究について)	QC活動 急変対応研修 (ACLS) 認知症看護研修
レベルⅣ	<ol style="list-style-type: none"> <li>①後輩の学習を支援する</li> <li>②チームリーダーとしての役割がとれる</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護チームの一員として役割遂行ができるための研修</li> <li>・倫理的問題解決ができるための研修</li> <li>・専門的・高度な看護が提供できるための研修</li> <li>・後輩・学生の指導を通して教育的関わりができるための研修</li> <li>・看護研究に対する関心が持てる研修</li> </ul>	レベルⅢ認定者・それ相当の者 レベルⅣを目指す者	看護倫理研修Ⅱ リーダーシップ研修Ⅱ メンター研修Ⅱ 看護を語る研修 がん診療研修(スピリチュアル) (レベルⅢ以上) がん診療・3疾患センターを知る研修(レベルⅣ・Ⅴ) 看護研究(基礎編) 看護研修(質と量の研究について)	急変対応研修 (ACLS) 認知症看護研修
レベルⅤ	専門性の発揮、管理・教育的役割モデルとなり、研究的に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理・教育的役割ができるための研修</li> <li>・倫理的視点に基づく看護実践の役割モデルとなる研修</li> <li>・より専門性を発揮した看護実践ができるための研修</li> <li>・看護職員へ教育的関わりができるための研修</li> <li>・看護研究に取り組むための研修</li> </ul>	レベルⅣ認定者・それ相当の者 レベルⅤを目指す者	リーダーシップ研修Ⅲ(問題解決思考) 看護研究(基礎編) 看護研修(質と量の研究について)	急変対応研修 (ACLS) 認知症看護研修

※研修内容については研修計画を参照

注1: ラダー認定には、左側のレベル認定必須研修の受講が必要。レベルⅢ、Ⅳにおいては右側のキャリアサポート研修★印のうち1つは必須。レベルⅤにおいて★はなるべく必要とする。

注2: 右側キャリアサポート研修の位置づけである研修は必須ではないが研修を受けて研鑽を積むことが望ましい